

信濃川大河津資料館友の会だより

友の会講座 魚野川バスツアー探訪報告会と 双書発刊に伴う講演会

7月7日(土) 13:30より、バスツアー魚野川-探訪報告会と双書発刊に伴う講演会を開催します。詳しくは別紙チラシをご覧ください。

5月に発刊された大河津分水双書第7巻「大河津分水と信濃川下流域の土地改良」



資料館講座 信濃川と良寛

7月21日(土)に講座“信濃川と良寛”を開催します。良寛の詩に込められた信濃川への想いについて燕市分水良寛史料館館長の塚本智弘さんよりお話いただきます。また、良寛が遺した作品についても解説していただきます。

日時：7月21日(土) 14:00~15:30

会場：信濃川大河津資料館2F 多目的ホール

定員：50名

会費：無料

講師：燕市分水良寛史料館 館長 塚本智弘さん

子供講座 大河津分水凧揚げ大会

毎年恒例となってきました、大河津分水凧揚げ大会を8月4日(土)に開催します。参加者全員で凧を作り、手作り凧を大河津分水の風に乗せて揚げます。大凧揚げにも挑戦します！

日時：8月4日(土) 10:00~12:00

会場：大河津出張所 大河津出張所前広場

定員：30名

会費：300円

※雨天決行です。ただし、凧作りのみとなります。



平成18年度「大河津分水凧揚げ教室」の様子



今年はどんな風が大河津分水の空へ揚がるのでしょうか。

講座への参加を希望される方は、同封の葉書に必要事項を記入の上ご投函下さい。なお、定員に達し次第締め切らせていただきますのでご了承下さい。

作業部会メンバー募集！

会員の方から、大河津分水の演劇を行いたいという提案をいただきました。そこで、友の会では作業部会を立ち上げ、活動を進めて行きたいと思っております。皆さんと一緒に、メンバーとして活動していませんか？作業部会メンバーとして協力いただける方は、大河津資料館までご連絡下さい。お待ちしております！

イベント報告

お茶を楽しむ会

昨年も好評だった、友の会有志による“お茶を楽しむ会”を4月8日（日）に資料館 4F 展望室にて開催しました。大河津分水や桜を眺めながらのお茶会に来館者の皆さんから楽しんでいただき、今年も大好評でした。



4F 展望室の様子
この日見学に来て下さった長岡技術科学大学の皆さんにもお茶を楽しんでいただきました。

友の会総会

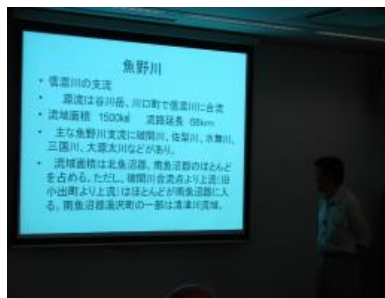
5月19日（土）、大河津出張所にて友の会総会を開催しました。平成18年度友の会事業と会計決算、平成19年度友の会事業と予算案が協議されました。また、役員の任期満了に伴い、改選が行われ、平成19年度事業、予算案と共に承認されました。



友の会総会の様子
多くの会員の方からお越しいただきました。また、友の会の活動報告を記した「あゆみ」をお配りしました。資料館1F 掲示板にてご覧いただけます。

バスツアー魚野川-事前学習会

6月3日（日）、バスツアー魚野川-事前学習会を開催しました。始めに、早川会長よりバスツアーのポイントや魚野川について説明を行いました。その後、行程確認、役割分担を決めました。バスツアーの様子は3ページをご覧ください。



早川会長よりパワーポイントを使って説明していただきました。

大河津分水句会

4月28日（土）、田村紅子先生を座長として“大河津分水句会”を開催しました。参加者から投句していただき、参加者全員が選者となり、句を選びました。選ばれた句を集め、後日「大河津分水句集 選句集」を作成しました。



大河津分水句会の様子
皆さん、真剣な表情で選句されていました。選句集は資料館1F 掲示板やHPでご覧いただけます。

可動堰改築事業の現状について

総会終了後の講演会として、信濃川河川事務所所長の弘田英人さんより、現可動堰の問題点や新可動堰の工事の手順や工事状況などについて、詳しく説明していただきました。



弘田英人さん
昨年の7月に起きた洪水の様子を動画で見せていただきました。

今号の可動堰

新可動堰完成に向けて、可動堰周辺の定点写真を紹介します。

現在は堰本体を支えるための基礎杭の工事が行われています。

7月から9月までの期間は出水の頻度が高くなるため、工事は休止されます。



右岸堰軸から撮影
(平成19年6月14日撮影)



右岸堰軸から近景を撮影
(平成19年6月14日撮影)

バスツアー魚野川

6月16日(土)、17日(日)に開催されたバスツアーの様子を紹介します。

今年は魚野川へ行き、流域の施設や史跡を巡りました。参加した会員の皆さんも“魚野川の改修によって、洪水から町を守り、安全をもたらした大工事に感動した(魚野川改修資料館にて)”“魚野川がとても美しかった”と勉強になったようです。詳しくは7月7日(土)に行われる魚野川バスツアー探訪報告会(1ページ参照)で報告を行います。ぜひご参加下さい。

～コース～

1日目

- ①妙見記念館
- ②魚野川改修資料館
- ③水尾新田護岸災害復旧工事
- ④三国川ダム
- ⑤大月ホテルの里(希望者のみ)

2日目

- ①島新田魚野川低水護岸施行地
- ②大源太川第1号砂防ダム
- ③大津川からの放水口
- ④登川河川公園
- ⑤鈴木牧之記念館



水尾新田護岸災害復旧工事



三国川ダム



大源太川第1号砂防ダム



登川河川公園



五百川清さんが河川文化の功労者に選ばれる!!

友の会顧問であり、前館長である五百川清さんが、日本河川協会から「河川功労者」として表彰されました! 五百川さんの功績を祝い、館長として赴任されてからの足跡を要約してご紹介します。

- 平成3年3月 「信濃川大河津資料館ガイドブック」編集・発刊。
- 平成13年7月 信濃川大河津資料館館長に就任。リニューアル展示設計に従事。
- 平成14年4月 信濃川大河津資料館リニューアルオープン。館長就任後初で資料館としても初となる企画展「横田切れ」開催。以後、退任まで全部で14回の企画展を開催する。
- 平成14年5月 館長就任後初の講座「大河津分水の志を訪ねる」開催。以後、退任まで友の会講座を含めて、全部で57回の講座を開催する。
- 平成15年5月 表参道新潟館ネスバスにて出張展示と出張解説を行う。各方面からの講演依頼は月2回～3回のペースで多忙を極める。
- 平成15年6月 全国治水大会にて約1000名の関係者を前に講演。講演後、関係者からの資料館見学申込みが相次ぐ。
- 平成16年1月 河川文化フォーラム「横田切れ」パネリスト。五百川さんの提案で「横田」の方々を特別招待。
- 平成18年3月 信濃川自由大学ゲスト。
信濃川大河津資料館館長退任。



平成13年、大河津出張所1階に設けた仮資料館で子供達に講話する五百川さん。「子供達だからこそ、真実を丁寧に伝えなければならない。」

平成14年、初めて開催した講座「大河津分水の志を訪ねるバスツアー」。大竹貫一の胸像の前で。



精力的な資料調査。企画展、講座、双書の基礎であり「地域の方々との繋がりが一番大事」だと教わりました。

7月7日(土)に五百川さんからご講演いただきます。皆さんぜひお集まり下さい!

(文責:樋口)



考える柱によせて

友の会会員 解良 節子

「春水満四沢」待ち焦がれた春と共に、雪解け水が沢に満ちる、執着がなくなった自然体の世界、一滴の水が満ちて、やがて大河、信濃川となる水の不思議……

今年も桜の季節、資料館の展望階で、茶会をさせて戴きました。その折、テーマに選んだのが冒頭の言葉でした。茶会はテーマの掛ものに従って全て道具のとり合わせを考えます。お花も時期の花を活けます。

この壮大、雄大の大河の前で、大勢の方々が抹茶を楽しんで下さいました。企画から終了迄いつも温かく見守っていただき又御協力して下さいました皆様のお陰で、無事に終えることが出来ました事を松井様共々心から感謝申し上げます。本当に幸せでした。私を大河津分水に導いてくれた「あるもの」に只々感謝の念でいっぱいです。

朝6時、本堂の鑿子^{はいす}が打たれ、住職の読経、合掌…、そうなんです。私は本尊様に参拝すると同時に、目の前にある111年前の「横田切れ」の水痕柱にも40年間、手を合せていたのです。この水痕柱は私にとって佛様同様の存在だったのです。無言のうちにその惨状を今に伝えてくれるこの柱、大河津分水工事再開の引き金となったこの水痕柱を毎日拝んでいるうちに、身体中にいろんな想いが行き交い、この柱の持つ深さと重みに押し潰される思いでした。この柱は私一人のものではない、この柱を見て、多くの方から洪水の事だけでなく、いろんな事を考えてほしい…。と願い乍ら「考える柱」と名付けました。

水痕柱が考えてみた事もなかった大河津分水へとつながり、今の私がいます。 —合掌—



信濃川の思い出

友の会会員 松井 ヒロ

明治27年生まれのお父は、横田切れの時3歳だったが、怖かった事と、横田の人がどんどん熊森へ逃げてきたとよく言っていた。

子供の頃生家は、石乗せ屋根だった。夏の1日、親戚や近所の家と結いをして、朝早く10人位で屋根の木羽替をする。夕方終わるとみんなで川へ行き、体を洗い、洗濯をする。夕焼けの川が今も目に浮かぶ。

昔は麻を作っていて、刈ると河原の平らな所へ四角に積み、何日間か乾かない様に川水をざぶざぶと麻にかける。そして苧引きと云う、皮剥き作業をする。

洪水になると河原田や畑が川になり、水が引くと流木がいっぱい取り残されていて、1年中の燃料となる。その他牛乳瓶の蓋が色々流れてきて、上流には牛乳屋がいっぱいあるなど拾い集めたものである。

夏の水涸れ時、船を漕ぐ練習をし、対岸の畑へ西瓜を穫りに行ったものである（船は資料館に飾ってあるのと同じ）。岸を櫂をさして登り、川中は流され流され櫂を八文字に漕いで対岸へ着く。女の細腕で難儀であったのが、一番の思い出である。 以上

次のご指名は玉木玉雄さんと滝澤青葉さんです。

友の会の日について

毎月第二土曜日に“友の会の日”を設けています。会員の方々がゆっくり休憩できるように3F会議室にお茶を用意してあります。会員の方々の「交流の場」となると思います。ぜひご来館下さい。

資料や情報の募集

大河津資料館では、信濃川・大河津分水に関する資料や写真、体験談などを調査しています。「家にこんなものがあるけど」「あの人がこんなこと知ってるはずだ」など、ぜひお教え下さい。ご協力よろしくお願いいたします。